

環境

富士電機は、「エネルギー・環境技術の革新により、安全・安心で持続可能な社会の実現に貢献します」という経営方針のもと、一丸となって地球環境問題に積極的に取り組んでいます。「環境保護基本方針」を定め、工場でのCO₂排出量削減に取り組むことや、「省エネ製品」や「創エネ製品」を社会に提供することにより、地球環境の保護に積極的に貢献していきます。

環境保護基本方針

- 1 地球環境保護に貢献する製品・技術の提供
- 2 製品 ライフサイクルにおける環境負荷の低減
- 3 事業活動での環境負荷の削減
- 4 法規制・基準の遵守
- 5 環境マネジメントシステムの確立と継続的改善
- 6 従業員の意識向上と社会貢献
- 7 コミュニケーションの推進

環境ビジョン

富士電機は、中長期的な環境活動の道標として、2009年に「環境ビジョン2020」を策定し、目標達成に向けて取り組んでいます。

「環境ビジョン2020」では、重要課題である「地球温暖化防止」「循環型社会形成」「企業の社会的責任」を3本の柱として、自社の生産活動における環境負荷低減とともに、当社が得意

とする電気、熱エネルギー技術を活かした製品・技術の提供により、持続可能な社会の実現を推進しています。

当社はグローバルな環境課題に対して国連で採択された「パリ協定」ならびに日本の地球温暖化対策基本計画に基づき、長期目標となる「環境ビジョン2050」の策定に着手しています。

富士電機の環境ビジョン2050



国連採択「パリ協定」

日本の地球温暖化対策基本計画：

2050年 温室効果ガス排出量80%減
2030年度 温室効果ガス排出量26%減(2013年度比)

富士電機の環境ビジョン2020

地球温暖化防止

- 生産時のCO₂排出量を20%削減します。(2006年度基準)
- 製品のエネルギー効率を向上させ、省エネ・創エネ製品で社会のCO₂排出量を3,000万トン削減します。

循環型社会形成

- 製品の3R(リユース・リデュース・リサイクル)を推進し、環境配慮製品を拡大します。
- 廃棄物・エネルギー・化学物質などの削減により事業所のゼロエミッションを達成します。

企業の社会的責任

- 環境国民運動、自然環境保護活動、環境教育を通して環境意識の向上に努めます。



環境への取り組みの詳細な情報はウェブサイトで公開しています。
www.fujielectric.co.jp/about/csr/global_environment/index.html



地球温暖化防止

工場・事務所における省エネ活動と、製品・サービスの提供で、グローバルでCO₂排出量削減を進め、地球温暖化防止に貢献しています。

生産時のCO₂排出量削減

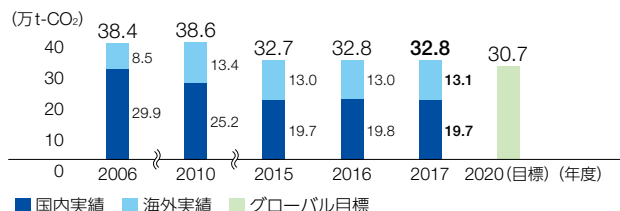
2017年度、CO₂のグローバル排出実績は32.8万トンになりました。国内(松本・津軽)ではクリーンルームを集約し、海外(マレーシア・シンガポール)では太陽光発電(92kW)を導入しました。さらに、当社の技術・製品を適用した使用エネルギーの見える化、最適化を実現するFEMS(工場エネルギーマネジメント)の導入を鈴鹿、吹上の両工場で行いました。

製品による社会のCO₂排出量削減

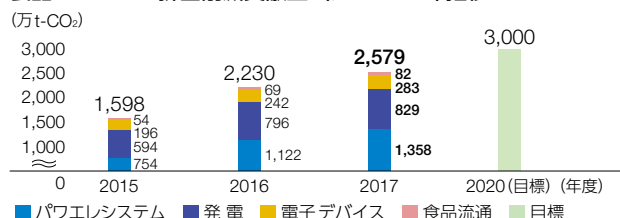
よりエネルギー効率の高い製品をお客様に使用いただくことで、社会全体のCO₂削減に貢献しています。

2017年度のCO₂削減貢献量は349万トン増加し、合計2579万トンになりました。特にインバータなどパワーエレクトロニクスの製品(280万トン)、発熱を抑えたパワー半導体など電子デバイスの製品(54万トン)が、大きく貢献しました。

CO₂排出量(グローバル)推移



製品によるCO₂排出削減貢献量*(グローバル)推移



* 2009年以降出荷した製品が1年間稼働した場合のCO₂排出削減貢献量
電機・電子業界の「低炭素社会実行計画」で定めた貢献量策定方法を参考に算出

循環型社会形成

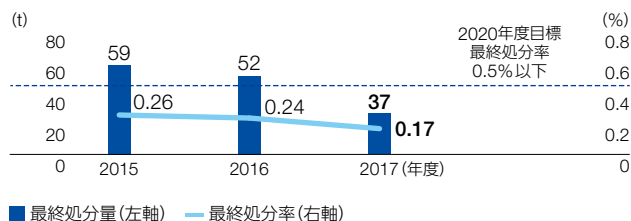
事業活動において3R(リユース・リデュース・リサイクル)を指向した活動を推進し、事業所の「ゼロエミッション」で循環型社会形成に貢献しています。

廃棄物の削減

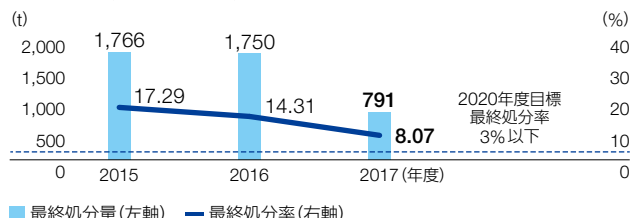
国内ではゼロエミッションを2004年度以降継続して達成しており、2017年度は最終処分率目標0.5%未満に対して実績0.17%となりました。

海外では2015年度にマレーシア工場での廃水処理で発生する汚泥(産業廃棄物)の再処理ができず、最終処分率が17.29%と大幅に悪化しましたが、2017年度は、この汚泥をセメント原料へ再資源化することで、最終処分率は8.07%になりました。

国内の最終処分量・最終処分率



海外の最終処分量・最終処分率



水資源の有効利用

世界的な水資源の枯渇問題に鑑み排水品質の遵守、排水量の削減、水資源の有効利用を目的に活動しています。

2017年度は国内外で水のリサイクルに取り組み、使用量目標13,575千トンに対し、12,523千トンと目標を達成しました。

水使用量(グローバル)

